

行事報告書(研修)

報告者：大原 徹

行事名	東おたふく山 自然観察会		
日時	2023年5月11日(木) 9:45~14:30 天候: 快晴		
場所	東おたふく山		
テーマ	春から夏への植物の生き様を観察しよう		
リーダー	樋口和久さん 2班に分かれて観察		
参加者	25名		
内容 (概要)	<p>観察コース: 阪急バス 東おたふく山登山口 西広場集合→麓 車止め→東尾根を登頂(途中に急な坂道あり)→眺望点→山頂(昼食)→北尾根→土樋割峠→蛇谷→東おたふく山登山口</p> <p>・9:45 阪急バスにて東おたふく山登山口集合、樋口リーダーより説明のあと、全員でストレッチ体操をして、2班(樋口班・藤原班)に分かれてスタート。出発してすぐに東尾根に入って登頂を開始。先週末降った大雨の影響もあり足元が悪く歩きにくい箇所もあったが、急坂を全員無事にクリアできた。ベニドウダンの花が満開で我々を迎えてくれ、ムサシアブミの花も観察できた。山道ではイワガラミ・カマツカ・クロモジ・コバノガマズミ・スノキ・ウスノキ等観察。ヤマツツジが美しく咲き誇り、ミヤコツツシも負けじと陽春の森に彩りを添えている。コウライテンナンショウやコアジサイ・ヤマヤナギなど春から夏に向けてのこの季節ならではの植物の生き様を堪能することができた。</p> <p>・11:20 ようやく山道を登りきると眺望が開けてくる。眺望点にはクロマツが木陰を作ってくれており、ヤマナラシが規則正しく自生していた。芦屋カンツリー倶楽部や奥池を眼下に眺めながら、しばしの休憩を取った。</p> <p>・11:40 東おたふく山山頂に到着して、ここで昼食休憩。雲一つない快晴のもと草原の風が気持ち良い。昼食のあと集合写真を撮り、ミニ解説(大原)の時間を取った。「ドビワリの水争い」では土樋割峠の由来と奥池開発の歴史、「六甲の造山活動」では甲陽断層・芦屋断層・五助橋断層と午後に通る大月断層の説明あり。</p> <p>・12:45 北尾根経由で下山スタート。途中、土樋割峠や大月断層を見学して、芦屋川に沿って蛇谷ルートを歩く。各所にウリハダカエデを見ながらトリガタハンショウヅルやタチツボスミレなどの草本に出会った。また堰堤部分に分け入って、ツリバナやクマシデの花を観察することができた。</p> <p>・14:20 阪急バス 東おたふく山バス停到着、全員集合を確認して解散。14:38 発のバスに乗車。</p>		
	 <p>ヤマツツジの群生</p>		
	 <p>ベニドウダン</p>		
	 <p>ムサシアブミ</p>		
	 <p>コバノガマズミ</p>		
	 <p>ヤマヤナギ</p>		
	 <p>自然観察会 東お多福山 2023.5.11</p>		
	<p>MNC 自然観察会としては初めての東おたふく山ハイキング。 絶好の季節とお天気に恵まれ、いろいろな説明もあり、とても楽しい観察会になりました。</p>		